



東北大学



東北大学東北アジア研究センターと
岩出山古文書を読む会が連携して
地域の歴史について学ぶ講座を開催します。

講座：地域の歴史を学ぶ

◎岩出山Ⅲ

城 — その知られざる歴史 —

平成 26 年 11 月 30 日(日) 午後 1 時～午後 4 時

会場：大崎市岩出山公民館

(〒989-6492 大崎市岩出山字船場21番地 Tel. 0229-72-0357 ※JR「岩出山」駅から徒歩 10 分)

入場無料／事前申込不要 ※当日直接会場へお越しください。

講演 ①：菅野 正道 (仙台市史編さん室長)
「中世の城から近世の城へ」

②：佐藤 公保 (米沢市教育委員会教育管理部文化課文化財担当)
「米沢館山城 —伊達と上杉の足跡が残る城—」

③：菊地 優子 (元岩出山町史編さん専門員)
「岩出山城 —城と町の変遷—」



中世から
近世へ。
戦乱の時代が終わり、
太平の世が訪れるとともに、
城は、その姿を、役割を、そして地域
との関わり方を変えていきました。
今年度の岩出山の講座では移行期の城の
知られざる歴史を探ります。取り上げるのは
地元・岩出山城と今話題の米沢の館山城。
「岩出山城って伊達政宗の居城だったって
いうけどいったいどんなお城？」「館山
城って伊達のお城なの？」
そんな疑問をお持ちの方、是非足を運んで
いただきたいと思います。

主催：東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料科学研究部門 岩出山古文書を読む会 共催：大崎市岩出山公民館
お問合せ：〒980-8576 仙台市青葉区川内 41 東北大学東北アジア研究センター上廣歴史資料科学研究部門

Tel/Fax 022-795-3140 E-mail m-tomoda@cneas.tohoku.ac.jp

◆上廣歴史資料科学研究部門 HP <http://uehiro-tohoku.net/> ◆東北アジア研究センター HP <http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>